
＜岡山県＞ 玉野市立荘内小学校

取 組 概 要

教育活動全体を通じたキャリア教育の全体計画、年間計画を作成し、校内体制づくりを行うとともに、小中連携と職業体験を効果的に導入し、児童の社会的・職業的自立に向け基盤となる資質・能力の育成と、地元への理解・愛着・誇りを育む教育を推進した。

○職業体験フェスタ in 荘内小

玉野市に所在する企業の特徴的な技術や製品を実際に見たり触れたりすることで様々な職種への興味・関心を高めるとともに、企業の方の話を聞いたり、質問したりすることで仕事のやりがいや楽しさ、苦労や努力、誇りなどを学ぶ「職業体験フェスタ in 荘内小」に平成29年度から取り組んでいる。事前学習では、小中連携の一環として荘内中学校2年生から職場体験で経験した内容を聞く講座を行い、事後学習では、5年生や保護者・地域に向けて発信する「職業体験フェスタ in 荘内小」の発表会を行うことで、将来の夢や目標を持ち前向きに取り組む姿勢が身に付いた。

「職業体験フェスタ in 荘内小」の実施により、小学校と地元企業との連携が始まり、今後の職業体験活動及び中学校での職場体験での協力体制が整った。

○キャリア教育つながりマップ

育成すべき資質・能力を系統的、教科横断的に身に付けていく過程を明確にし、見通しをもって児童と教員が学習する取組として、「キャリア教育つながりマップ」を全学年ごとに作成し、教室等に掲示することにより、キャリア教育の視点を常に意識しながら学習に取り組んだ。また、職員室に掲示したつながりマップに各学習の振り返りを教員が記入するなどのPDCAサイクルを回すことにより、教科横断的にカリキュラムマネジメントを進めた。

○キャリアノート

自己紹介カード、めあてカード、反省カード、キャリア教育関連の授業の振り返りカードなどを一つにまとめて保管するためのキャリアノートを作成している。それぞれのカードにはキャリア教育で身に付けさせたい4つの力について自身の変容や成長を自己評価できるようにしている。このノートは6年間持ち上がり、中学校に引き継いでいる。今後は、県教育委員会作成の「おかやまキャリア・パスポート」の内容を踏まえ、取組を充実させていく。

○児童の変容

取組の結果、キャリア教育アンケート（平成29年10月から平成30年1月の変容）項目の「将来の夢を持っている」では、肯定的な回答が95%から99%に上昇し、「自分の将来の仕事について決めている」では、67%から70%に上昇した。児童の感想には「働く意義や企業の課題や理念を知ることができた」や「体験したことで大人になって早く働いてみたい」という感想があり、取組により児童の働くことへの意欲向上が見られた。

また、同アンケート項目の「自分の考えや気持ちを伝えようとしている」では当てはまると回答した児童の割合が47%から56%に上昇し、「苦手なことや難しいことでも、自分から進んで取り組む」では、肯定的な回答が81%から86%に上昇した。このことから、コミュニケーション能力やチャレンジ精神、実行力の育成に成果が見られた。